
平成25年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成25年3月11日

質問者（質問順）

- 1 木下義裕 委員（みんな）
- 2 大貫憲夫 委員（共産党）
- 3 高橋徳美 委員（自民党）
- 4 鈴木太郎 委員（自民党）
- 5 大山しょうじ 委員（民主党）
- 6 加藤広人 委員（公明党）

交 通 局

局 別 審 査

1 木 下 義 裕 委 員 (み ん な)

1 平成25年度交通局予算の概要と経営課題について

- (1) バス事業と地下鉄事業それぞれの経常利益はいくらか、また、前年度予算と比較してどうか。
- (2) バス事業と地下鉄事業を経営していくうえでの課題は何か。

2 駅までワンコイン社会実験について

- (1) 山手駅と根岸駅でのワンコイン利用者数は実施前に比べてどのような状況なのか。
- (2) ワンコイン利用者数について、どのように受け止めているのか。
- (3) 利用者数が増加しているのであれば、本格実施を検討していく考えはないか。

3 地下鉄事業への負担金の繰り延べについて

- (1) 地下鉄事業への負担金の繰り延べが昨年度より増加しているのはなぜか。
 - (2) 60億円の繰り延べは額も大きいと思うが、地下鉄事業の収支等にどのような影響があるのか。
 - (3) 過剰債務処理の負担金が後年度に先送りされたことで、交通局職員のモチベーションは維持できるのか。
 - (4) 繰延負担金については、本市として責任をもって対応すべきと考えるが副市長の見解を伺いたい。
- (要望) 交通局の企業経営に多大な影響を与える判断は慎重に行うことを要望します。

4 業績手当について

- (1) 22年度予算局別審査の答弁との変更点について伺いたい。
- (2) バス乗務員の無事故表彰制度の支給額を大幅に増加させた理由は何か。

- (3) 交通局の考える「精励」とはどのようなことか。
 - (4) 交通局としての「黒字」とは何か。
 - (5) 支給原資となる黒字とは、経常利益の範囲ではなく、23年度を基準とした営業利益の増加分の半額の範囲内としなければ、手当本来の趣旨には合致しないと思うが見解を伺いたい。
 - (6) 自動車事業と高速鉄道事業それぞれの現業職の病気休暇と超過勤務の状況について伺いたい。
 - (7) バス乗務員の現業職の病気休暇と超過勤務の現状について、どのように考えているのか。
 - (8) 病気休暇の取得手続きについて伺いたい。
 - (9) 病気休暇の取得には、安全管理の面からも原則どおり診断書の提出を徹底すべきであると考えが見解を伺いたい。
 - (10) 病気休暇取得後の超過勤務命令に制限はあるのか。
 - (11) 病気休暇の取得には、短期間であっても原則どおり診断書の提出を求めるべきと考えるが見解を伺いたい。
 - (12) 改善に向けた対策について伺いたい。
 - (13) 市民の安全を守る立場として改善に向けた対策についての見解を伺いたい。
- (要望) 必要な人員を職員の新採用で確保していくことは経営上の観点だけではなく安全の面からも大事なことであると考えます。安全のためにも病気休暇を取得している職員への超過勤務命令は即刻中止することを要望します。

5 横濱ベイサイドラインについて

- (1) 収支改善に向けて、25年度はどのような取組を行うのか。

6 廃車したバス車両の売却について

- (1) 国際貢献の一環として、バス車両を譲渡した実績はあるのか。

2 大貫憲夫委員（共産党）

1 あざみ野駅のバリアフリー化について

- (1) 市営地下鉄における地下のホームから地上にあがる手段について伺いたい。
 - (2) 移動等円滑化整備ガイドライン改訂版の内容について伺いたい。
 - (3) ターミナル駅の乗降客とエレベーター、エスカレーターの設置状況について伺いたい。
 - (4) あざみ野駅の状況は、ガイドライン改訂版の趣旨から考えると問題があると思われるが見解を伺いたい。
 - (5) あざみ野駅は上層階から下層階へ移動する手段がないが見解を伺いたい。
 - (6) あざみ野駅の構造的理由から見て無理なのであれば、将来的にも設置できないということか。
 - (7) あざみ野駅の下りエスカレーターの設置に関する所感を伺いたい。
 - (8) 下りエスカレーターの設置優先順位は一番になるのか。
- (要望) ターミナル駅の中で、上りと下りの移動手段が確保されていないのはあざみ野駅だけであり、下りエスカレーター設置を速やかに行うことを要望します。

3 高橋徳美委員（自民党）

1 中期経営計画の「日本一の接遇」

(1) 局長の思い描く「日本一の接遇」について伺いたい。

2 15年度の「市営交通あり方検討委員会」以降の交通局の経営改革

(1) 交通局で取り組んできた経営改革の具体的な内容について伺いたい。

(2) 自動車事業会計の営業損益、経常損益の15年度予算との比較及び営業費用の人件費、営業外収益の一般会計補助金はこの10年間でどれくらい削減されたのか。

(3) 高速鉄道事業会計の営業損益、経常損益の15年度予算との比較及び人件費、支払利息はこの10年間でどのくらい削減されたのか。

(4) この10年間の経営改革の成果をどのように評価しているのか。

(5) 中長期的な経営の視点からの主な課題は何か。

(6) バス事業の今後の課題と対応について

ア 乗車料収入はどのように推移しているのか。

イ 乗車料収入を確保するためにどのような取組を重点的に行っているのか。

ウ 資金残高があるにもかかわらず、なぜ新たな借金をするのか。

エ 退職金の支払いピーク時期はいつか。また、支払額の見込みとピーク時の退職金支払額は25年度予算と比較してどのくらい増えるのか。

(7) 地下鉄事業の今後の課題と対応について

ア 現時点の電気使用量の削減状況はどうか。

イ ワンマン運転中に車内急病人やトラブルが発生した場合はどうしているのか。

ウ 企業債は将来的に償還することはできるのか。

(8) 自動車事業及び高速鉄道事業における25年度の資産活用事業はどのようなものがあるのか。また、収入見込額と有効活用の考えについて伺いたい。

(9) 厳しい経営環境の中で市営交通を運営していく局長の決意を伺いたい。

3 現場の声を生かした業務改善について

- (1) 現場などの職員のアイデアや提案を局の事業に反映させる仕組みはあるのか。
- (2) 「職員提案制度」はどのような事業か。また、具体的に事業化された事業はあるのか。
- (3) 「自主企画支援制度」はどのような制度か。また、この制度から発展した25年度の事業はあるか。
- (4) 現場を含めた職員の声を局の経営に反映していくことは非常に大事だと思いが考えを伺いたい。

4 地下鉄の危機管理対策について

- (1) 2月7日のレール破断事故の詳細な原因とその際の処置、今後の対策を伺いたい。
 - (2) 破断事故時の運休の間のお客さまへの対応はどうだったのか。また、どういう措置を取ったのか。
 - (3) 日ごろから行っている障害に対する備えはしていたのか。それは今回の障害でどのように活かされたのか。
 - (4) 安全に関して数多く行っている取組を積極的に発信していくことで、お客様に安心してもらえらると思うがどうか。
 - (5) 東日本大震災級の地震が起きた場合の安全性は確保されているのか。
 - (6) 老朽化や新たな安全対策への投資はどのように計画しているのか。また、どの程度進捗しているのか。
- (要望) 安全報告書が文字だけのものにならず、具体的に取組を進めていただくよう要望します。

5 貸切バス及び横濱ベイサイドラインの活用について

- (1) 24年度と比較した25年度の貸切バス事業の収入見込みはいくらか。
- (2) 企業などから継続的に受注している貸切バスの収入実績の割合はどのくらいか。
- (3) 定期観光バスを運行する目的は何か。

- (4) 定期観光バスのターゲットは誰か。
- (5) 23年度の収支及び24年度の収支見通しはどうなっているのか。
- (6) ホテルから直接乗車できるのか。
- (7) 車椅子の方も利用できるのか。

6 事業経営に関する考えについて

- (1) 25年度の事業経営に対する局長の決意を伺いたい。
- (2) 交通局の事業経営についての課題認識と今後交通局に期待する役割は何か。

1 改善型公営企業の役割と責任について

- (1) 自動車事業における改善型公営企業としての役割、責任は何か。
- (2) 民間バス事業者との役割分担はどのように考えているのか。
- (3) 平成24年のバス乗務員の採用の実績はどうか。
- (4) 平成25年度以降のバス乗務員採用計画はどうなっているのか。
- (5) どのような採用活動をしているのか。
- (6) なぜ採用を始めたのか。
- (7) 民間バス事業者との競合路線はどのくらいあるのか。
- (8) 競合路線は民間バス事業者に移譲を検討していくべきと考えるがどうか。
- (9) 一定の利益を確保するためには収益性の高い路線であれば、民間バス事業者と競合している路線であっても競争していくということか。

1 地下鉄のトンネルの安全について

- (1) トンネルの点検は、通常どのように行っているのか。
 - (2) トンネルの点検結果は、補修工事の際にどのように活用しているのか。
 - (3) これまでにどのようなトンネル補修を行ってきたのか。
 - (4) 横浜駅から吉野町駅間の塩害の影響が見られる区間のトンネル補修には、これまでにどのくらいの費用がかかったのか。
 - (5) 今後のトンネル補修の予定はどうなっているのか。
 - (6) 今後は、トンネル補修をはじめ、老朽化施設の補修・更新や新たな安全向上対策等にどれくらいの投資を考えているのか。
- (要望) 公共交通機関として安全性の確保は最重要課題であるため、安全性確保のための必要な投資をきちんと行うことを要望します。

2 ブルーライン駅構内照明のLED化について

- (1) 駅構内照明のLED化を進めているとのことだが、どのような計画なのか。
- (2) 現在までのLED化の取組の実施状況はどうか。
- (3) 平成25年度の取組予定はどのようになっているのか。
- (4) LED化による効果をどのように見込んでいるのか。

3 地下鉄急行運転について

- (1) 急行運転実施に向けた検討として2200万円を予算計上しているが、その内容はどのようなものなのか。
- (2) 他の地下鉄事業者で急行運転を行っているところはあるのか。また、その運行方法はどのようなものか。
- (3) ブルーラインでの運行方法についてどのような検討をしているのか。また、停車駅の考え方はどのようなものか。
- (4) 急行運転を実施することで、速達性はどの程度上がるのか。

4 グリーンラインのダイヤ改正について

- (1) 現在のグリーンラインの混雑状況はどうか。
- (2) お客様からの要望はどのようなものがあるのか。
- (3) 今回のダイヤ改正の概要はどのようなものか。
- (4) 2編成増強に関連する費用はどのくらいか。
- (5) ダイヤ改正を実施することで、混雑がどのくらい緩和されると見込んでいるのか。

5 地元プロスポーツチームとの連携強化について

- (1) 横浜F・マリノスとのこれまでの連携実績と今後の取組予定について伺いたい。
- (2) タイアップチケットの販売は黒字になっているのか。
- (3) 横浜ビー・コルセアーズとどのような連携を進めているのか。
- (4) 市内各チームとの連携をどのように進めていくのか。

6 「あと一人にご乗車いただく」ための接遇向上について

- (1) 「あと一人のお客様にご乗車いただく」ための接遇向上について、どのように取り組んでいくのか。
- (2) 交通局のいう「日本一の接遇」とはどのようなものなのか。また、その「日本一の接遇」のモデルとする事業者はあるのか、あるとすればどこなのか。また、現状では交通局は何番目くらいに位置するのか。
- (3) 「日本一の接遇」を目指すために、今後どのような取組を行うのか。

1 市バス・地下鉄における震災対策について

(1) 市営地下鉄における震災対策について

ア 大規模な地震に対して地下鉄はどのような安全対策をとっているのか。

イ 大規模蓄電池とはどのようなもので、いつごろまでに整備される予定なのか。

ウ 東日本大震災の当日の市営地下鉄の状況について伺いたい。

エ 東日本大震災の経験を踏まえて、震災対策についてどのように改善を図っているのか。

オ 帰宅困難者対応マニュアルの内容はどのようなものか。

カ 対策の実効性を上げるための取組として訓練を行うべきと思うが、局長の見解を伺いたい。

(2) 市営バスにおける震災対策について

ア 東日本大震災の当日の市営バスの状況について伺いたい。

イ 東日本大震災の経験に基づく震災対策について、どのように進めているのか。

(3) マニュアル等の実効性を上げるためには市民参加の訓練も実施すべきと思うが、どのように考えているのか。

2 市民に親しまれる市営交通について

(1) バス停ベンチの設置について

ア バス停ベンチの現在の設置状況と今後の整備予定について伺いたい。

イ サイズや形態を工夫したバス停ベンチの設置状況について伺いたい。

ウ 企業等との連携によりベンチ設置を促進すべきと考えるが、局長の考えを伺いたい。

(2) 市営交通ファンの拡大について

ア これまでどのようなオリジナルツアーを実施したのか。

イ 交通局協力会とどのような役割分担で行っているのか。

ウ 今後、交通局自身が自ら旅行業をなりわいとすべきだと考えるが、見解を伺いたい。

3 ふれあいバスについて

- (1) 現在運行している2路線の利用状況はどうか。
- (2) 現在運行している2路線の利用者からは、どのような意見があるのか。
- (3) 利用者からの意見を受けて、どのように対応していく考えなのか。
- (4) 今後、どのような地域で「ふれあいバス」を新設していくのか。

4 原油高による経営への影響について

- (1) 予算における軽油購入単価は5年前と比べてどの程度上昇しているのか。また、営業費用全体に占める動力費の割合は5年前と比べてどうか。
- (2) 原油高における動力費の上昇は経営に影響を与えると思うが、交通局としてはどのように対応していくのか。
- (3) これまでの燃費向上の実績はどうか。また、さらなる燃費向上のために、どのように取り組んでいくのか。

5 交通局の人材戦略について

- (1) バス・地下鉄事業を担う人材の育成について、どのように認識しているのか。
- (2) 交通局の人材育成上の具体的な課題は何か。
- (3) それぞれの役割を担う職員にどのような能力を期待しているのか。
- (4) 職員の能力向上やその結果得られた実績について、どのように評価していく考えなのか。
- (5) バス・地下鉄事業における女性の活躍の場の拡大に向けてどのように取り組んでいくのか。
- (6) バス運転手の「養成枠」実施の効果と今後の方針について伺いたい。
- (7) 自主自立の経営を維持させるための人材育成・活用の方針をまとめ、明示していくことが必要と考えるが、所感を伺いたい。